

所 信 表 明

令和4年12月6日

御浜町長 大 畑 覚

令和4年第4回御浜町議会定例会の開会にあたり、今後4年間の町政運営につきまして、所信の一端を述べさせていただきます。

御浜町が誕生してから、早や64年が経過しておりますが、今日のような発展を遂げることが出来たのも、先人の方々の並々ならぬご努力と町民の皆様の深い郷土愛の賜物であり、心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

又、去る10月10日から、引き続き、3期目の町政運営の重責を担わせていただいておりますが、議員各位をはじめ全ての町民の皆様に対しまして、衷心より、厚く御礼を申し上げます。そして、改めて、身が引き締まる思いであります。

これからも、今日まで守られてきた豊かな自然、育まれてきた文化、受け継がれてきた伝統を次世代に引き継ぎ、『一人ひとりが幸せを実感

し、「みはま」らしく輝くまち』の実現に向けて、全力で町政の推進に取り組んで参ります。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染が確認されてから3年が経過し、又、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まってから9ヶ月が経過しております。

加えて、北朝鮮によるミサイル発射が頻発化し、日本の海域内外へ着弾する等、国民の不安が非常に大きくなってきております。

そのような情勢の中で、物資の不足、物価の高騰、更には、円安も相まって、私達の家計に大きな負担となって表れてきております。

こうした地域経済の低迷や急速に進む少子高齢化により、人口減少社会の様々な困難に直面しており、本町においても、多様化する住民ニーズに対応し、持続可能な地域の発展と良質な行政サービスを提供するため、自治体としての自立性を一層高め、これまで以上に、より効率的で効果的な行政運営が必要となっているところであります。

顧みますと、2期8年間は、加速度的な人口減少に歯止めをかけ、安全で明るく活気のある御浜町を取り戻したいとの思いから、町政の柱として、高速道路の早期完成、防災の強化、若者の定住対策、柑橘の振

興、教育の充実、高齢者の生きがい対策の6策に、地域振興のための観光を重点施策に追加して、取り組んで参りました。

これまでの8年間で、公約の全ての事業に着手しましたが、完成までに至らなかった事業については、継続して取り組むと同時に、これからの4年間は、3つの重点プロジェクト、

1. 暮らしに穏やかさを感じる「安全・安心の確保」プロジェクト
 2. 暮らしの活力を生み出す「地域経済の活性化」プロジェクト
 3. 暮らしを未来につなぐ「人口減少への挑戦」プロジェクト
- を中心に「次世代へつなぐまちづくり」に取り組んで参ります。

3つのプロジェクトには、いくつかの重点施策がありますが、私が最優先に力を入れて取り組む施策は、「地域経済の活性化」プロジェクトの中の、「みかん産地の再生」であります。

みかん生産農家が500戸まで減少し、生産量がピーク時の3分の1の8千トンまで減少しています。

そこで、当面、産地として生産量8千5百トンを維持することを目標に、新規就農者の確保、農地の流動化、耕作放棄地の解消、優良品種の高品質果実の増産等を推進して参ります。

「年中みかんのとれるまち」御浜町を、名実共に、みかんの町であることを示すことが、町全体の活性化につながるものと確信しております。

2番目に力を入れて取り組む施策は、「安全・安心の確保」プロジェクトの中の、「近畿自動車道紀勢線の整備」であります。

国の事業である紀宝熊野道路の整備計画において、御浜インターチェンジを紀南病院の裏側に設置すると共に、アクセス道路として、整備途中となっている町道市木阿田和線のバイパスを、県事業として県道御浜紀和線に変更し、町は、町道紀南病院線の改良を行い、アクセス道路となる県道御浜紀和線に交差させる計画を公表したところであります。

このように、町の中心部における道路整備は、紀宝熊野道路に期待する「災害発生時の人員・物資の緊急輸送や避難・救助救援活動の迅速化・円滑化」等、安全・安心の確保を町内にもたらすと共に、地域経済の活性化にも大きく寄与するものと確信しております。

3番目に力を入れて取り組む施策は、「人口減少への挑戦」プロジェクトの中の、「若い世代の定住促進」であります。

結婚、妊娠、出産、子育て、就学の切れ目ない支援施策を推進すると共に、学校、地域、家庭と連携し、教育、保育環境の充実に取り組んで参ります。

併せて、都市部に潜在する移住希望者や本町出身者に、移住に関する情報を積極的に発信すると共に、「御浜町移住交流サポートデスク」の機能を拡充し、移住希望者に対する受け入れ環境、体制の充実を図り、若い世代の起業を支援して参ります。

若い世代が子育てしながら安心して暮らし、町の将来を担う子供たちの郷土を愛する心を育み、学ぶ力を高めると共に、少子化の流れを減速させ、新たな人の流れの創出につながるものと確信しております。

なお、3期目の町政を進めるにあたっては、地域住民の皆様から町の将来における様々なご意見やご提案、ご要望をいただいておりますので、充分検討した上で、種々選択し、「第6次御浜町総合計画前期基本計画」の実施計画に反映して参りたいと考えております。

引き続き、「町内融和・一策入魂」を町政における政治信条として、「オール御浜」で取り組んで参りますので、議員各位並びに住民の皆様のご理解とご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。3期目の町政運営にあたっての所信表明といたします。